

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【公表番号】特表 2009-509985 (P2009-509985A)
 【公表日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-010
 【出願番号】特願 2008-532633 (P2008-532633)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 55/06 (2006.01)

C 0 7 C 51/41 (2006.01)

C 0 7 F 9/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 55/06 C S P

C 0 7 C 51/41

C 0 7 F 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 17 日 (2009.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ニオブ化合物である、アンモニウム（ビスアクオオキソビスオキサト）ニオベート
 $(\text{NH}_4)[\text{Nb}(\text{O})(\text{C}_2\text{O}_4)_2(\text{H}_2\text{O})_2]$ およびその水和物。

【請求項 2】

請求項 1 記載の化合物を製造する方法であって、
 水酸化ニオブとシュウ酸とを水中に溶解する工程、
 アンモニアを添加する工程、
 反応混合物を冷却する工程
 を有する方法。

【請求項 3】

反応混合物中のニオブ濃度が、約 2 g Nb / l 未満である、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

反応混合物が、約 35 ～ 約 80 の温度を有する、請求項 2 または 3 記載の方法。

【請求項 5】

反応混合物を、約 25 以下の温度に冷却する、請求項 2 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

式 1 の化合物を、水、補助剤、乳化剤、抗菌剤、水溶性バグ、水溶性ポリマー、ポリビニルアルコール、シュウ酸、シュウ酸アンモニウムからなる群から選択される少なくとも 1 の別の成分と一緒に含有する調製物。

【請求項 7】

前記調製物が、請求項 1 記載の化合物、該化合物の溶液または該化合物のスラリーを含有する可溶性のポリマーフィルムからなる容器を含有する、請求項 6 記載の調製物。

【請求項 8】

ポリマーフィルムが、ポリビニルアルコールを含有する、請求項 6 または 7 記載の調製

物。

【請求項 9】

前記調製物が、ポリビニルアルコールのフィルムを含有する閉じられたバッグ内の請求項 1 記載の固体化合物である、請求項 7 または 8 記載の調製物。

【請求項 10】

触媒、セラミック材料、エレクトロセラミック材料またはフェライトを製造するための、請求項 1 記載の化合物または該化合物の調製物の使用。

【請求項 11】

請求項 1 記載の調製物であって、該調製物が、プレス成形された物品である調製物。

【請求項 12】

成形された物品が、円柱形または球形の形を有する、請求項 11 記載の調製物。

【請求項 13】

実質的に請求項 1 記載の化合物からなる、請求項 11 または 12 記載の調製物。

【請求項 14】

前記の調製物が、請求項 1 記載の化合物、および少なくとも 1 の添加剤、補助剤、助剤、離型剤、滑剤、またはこれらの組み合わせを含有する、請求項 11 または 12 記載の調製物。

【請求項 15】

前記の調製物が、少なくとも 1 の炭酸塩を含有する、請求項 14 記載の調製物。

【請求項 16】

前記の調製物が、炭酸塩および固体の酸性化合物を含有する、請求項 15 記載の調製物。

【請求項 17】

炭酸塩が、炭酸アンモニウムであり、かつ固体の酸性化合物が、シュウ酸である、請求項 16 記載の調製物。

【請求項 18】

本発明によるニオブ化合物の成形された物品を製造する方法であって、
場合により請求項 1 記載のニオブ化合物を準備する工程、
該ニオブ化合物を固体の酸性化合物および固体の炭酸塩と混合して、第一の混合物を得る工程、
該ニオブ化合物または該第一の混合物をダイへ移す工程、
ダイの中身をプレスして成形された物品を得る工程
を有する、本発明によるニオブ化合物の成形された物品を製造する方法。